

65歳以上で運転免許証を自主返納する人へ

運転免許証を自主返納された人に対し、次のうちいずれかを贈呈します。

- らく賃パスポート3カ月分
- JAお買い物券5,000円分
- 栗津温泉利用券5,000円分



※らく賃パスポートとは、市内路線バスで利用できるフリー乗車券です。

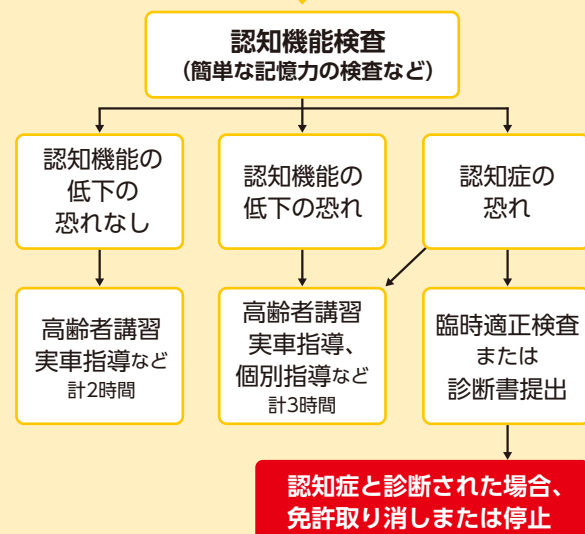
詳しくは小松市交通安全協会連合会事務局 (☎24・2600) までお問い合わせください。

運転免許証を持つ75歳以上の人へ



認知機能が厳しくチェックされるようになりました

運転免許証を更新するときの流れ

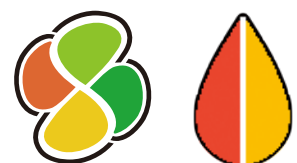


※更新時以外でも、一定の交通違反をしたときは臨時認知機能検査及び臨時高齢者講習を受けることになります。

3 運転に自信がなくなってきたときは…

70歳以上の人は高齢運転者マークを

70歳以上のドライバーで、身体機能の低下により運転に影響を及ぼす恐れがある場合、高齢運転者マークを使用しましょう。このマークをつけた自動車に対して、周囲のドライバーは配慮することが義務付けられています。



現在のデザイン 従来のデザイン
高齢運転者マーク

ドライブレコーダーの活用

運転時の映像や音声記録できるドライブレコーダー。前の車との車間距離を計測し、近付き過ぎるとアラームで知らせてくれる機能が装備されたものもあります。



高齢者ドライビングスクール

小松市交通安全協会連合会では、自動車学校の指導員が運転を診断してくれる講習を年2回無料で開催しています。

問い合わせ 小松市交通安全協会連合会事務局 ☎24・2600



交通安全体験車による出前教室

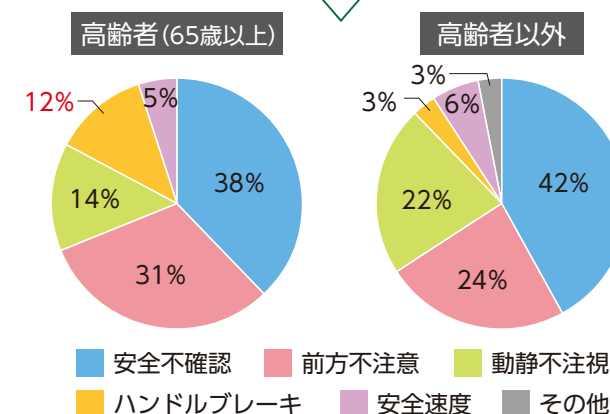
町内会や老人会など20人以上が集まる団体向けに、認知機能や反射能力などを測定し、交通安全について楽しく学べる出前教室を行っています。

問い合わせ 小松警察署交通課 ☎22・0110

2 事故の主な原因は？

市内における交通事故原因の第1位は「安全不確認」です。これは、交通ルールは守っているものの、安全確認が不十分のため事故を起こしてしまうものです。特に高齢者ドライバーの場合、ハンドルやブレーキの運転操作ミスによる事故の割合が多いのが特徴です。これは、高齢による身体機能や認知機能の低下が原因と考えられています。

市内交通事故における安全運転義務違反の構成率(平成28年)



CHECK

昨年、交通死亡事故で多かったのは高齢者の自転車事故

昨年の市内交通事故における死亡者数は4人でしたが、いずれも自転車を運転していた高齢者でした。



交通事故のない安全なまちへ

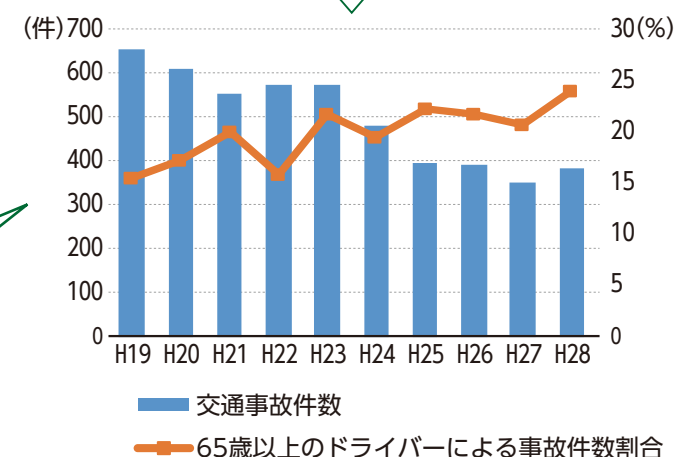
問い合わせ 市民協働課 ☎24・8217

交通事故のない安全安心なまちの実現のため、交通マナーについて振り返り、自分にできることを考えてみましょう。

1 市内の交通事故発生状況は？

近年、高齢者ドライバーによる交通事故のニュースを見ることが多くなりました。このような事故は小松市でも例外ではなく、過去10年間で交通事故の全体件数は減少傾向にある一方、高齢者が原因となる交通事故の割合は増加傾向にあります。

市内の交通事故件数及び65歳以上のドライバーによる事故件数割合の推移



教えて!!

交通事故、どうしたら防げる？

自分の命は自分で守る意識を

運転が苦手な人は混雑していない時間帯や道を選んで運転する、歩行者は歩道を歩く、高齢者は車に高齢運転者マークを付けるなど、自分のため、そして周囲に迷惑を掛けないための行動を心掛けましょう。

小松市高齢者交通安全推進協議会
会長 佐藤重夫さん

家族や周囲への呼び掛けを

家族や近所で運転が心配な人がいても本人に直接言いにくい場合、私達がお伺いして、代わりに交通安全の大切さをお話することもしています。困ったときはお電話ください。女性ドライバーの会 ☎47・0826

小松市女性ドライバーの会
会長 前川弘子さん

歩行者は反射材の使用を

夜間の歩行者の交通事故が後を絶ちません。反射タスキや靴に貼る反射材などを配布していますが、着用率が低いのが現状です。ドライバーに自分の存在を知らせるために、反射材を必ず着用しましょう。

小松市防犯交通推進隊連合会
会長 長井勝人さん

「安全の先取り」が大事

運転前は体調管理をしっかりし、時間に余裕を持った行動を心掛けましょう。方向指示器を早めに出したり、夜間に対向車がいなときはハイビームにしたりするなど、事故を起こさないための準備が大切です。

小松市交通安全協会連合会
会長 小前田彰さん